



国際車いすテニス & 飯塚カップ開催

① 4月18日～4月23日、4年ぶりの開催となった天皇杯・皇后杯第39回飯塚国際車いすテニス大会（ジャパンオープン）。

② 男子シングルスは新進気鋭の小田凱人選手が眞田卓選手との日本人対決を制し16歳にして初優勝を飾りました。女子シングルスは上地結衣選手が世界ランク1位のディーデ・デフロート選手に破れたものの見事に準優勝となりました。

③ 大会表彰式では前回の大会優勝者で3月に国民栄誉賞を受賞した国枝慎吾さんがプレゼンターとして登場し、自身の後継者と言われる小田選手の栄誉をたたえました。

④ 多くのボランティアスタッフが支えられ、国内外からの選手達に愛される大会は、「ジャパンオープン最高！」という掛け声により、6日間に渡る大会の全日程を無事に終えました。



飯塚市総合体育館の落成記念として福岡第一（福岡）、福大大濠（福岡）、開志国際（新潟）、東山（京都）の強豪4チームが集結し、2日間にわたり開催された「飯塚カップ」。

チケットは完売し、多くの方が総合体育館を訪れました。6試合総当たり戦を制したのは3試合全勝した開志国際でした。多くの感動をありがとうございました。

①寛仁親王妃信子殿下のご臨席を仰ぎ行われた国際車いすテニス開会式（お出迎え）
②左：小田凱人選手 右：眞田卓選手 ③左：ディーデ・デフロート選手 右：上地結衣選手 ④大会後の集合写真
⑤福大大濠 vs 福岡第一 ⑥福大大濠 vs 開志国際 ⑦福岡第一 vs 開志国際 ⑧福大大濠 vs 東山